

さびれた漁港の一角。夜の暗がりや段差に腰掛け、スマホに興じる数人の若者たち。2016年11月に営業を終了した兵庫県香美町の遊覧船かすみ丸の事務所前に、毎日のように高校生らが集まっている。多い時は10人ほどが集まり、休日には朝から訪れる人も。何をしているのかと思いきや、「スマホにこのWi-Fi（ワイファイ）を使わせてもらってるんですよ」。

彼らは地元の香住高校の寮生たち。寮にワイファイがなく、かと言って地方ではワイファイ・スポットの確保は至難の業だ。かすみ丸の事務所では数年前、乗船客向けに無料ワイファイを整備。事務所内に入らなくても建物の近くに行けば使えることから、同校の寮生たちが利用するようになったが、かすみ丸社長の山口都子さんは、「お金はかかるけど、よその土地に来てやりたいことも出来ないなんてかわいそうだから」と営業終了後もワイファイを残した。

「ここがないと生きていかれへん。本当に助かってます」と同校3年の栗林佑宇さん。実は近くの公共施設には無料ワイファイが使える場所があるのだが、周囲の視線が厳しく足が遠のいた。快く受け入れてくれたのがかすみ丸の事務所だと言う。山口さんは今でも換気などで事務所に通うそうで、「冬の寒い日にガタガタ震えながらスマホをいじっているのが気の毒で」と暖房をつけて中に入れたことも。「事務所がある限りワイファイも続ける。どんどん使ったらいい」。聖書は言う。

「彼はいたんだ葦を折ることもなく、くすぶる燈心を消すこともなく、

まことをもって公義をもたらす。」

イザヤ書42章3節。

最近、「排除」などとウマが合わない人を締め出す風潮がかまびすしい。だがキリストは希望の光を消すことは絶対はない。自分の居場所を求めさまよう、迷っている人、悩んでいる人、弱い立場の人を快く受け入れてくださる。

2018-1-19

